



株主通信

2023年度
【第45期】

● 第3四半期 [2023年4月1日~2023年12月31日]

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援とご高配を賜り、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ2023年度(2024年3月期)

第3四半期の「株主通信」をお届けし、

当期の状況についてご説明申し上げます。

2024年3月

取締役社長

羽田 雅一



第3四半期の概要

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、海外経済の回復ペース鈍化の影響などを受けつつも、企業収益や業況感は改善しており、景気は緩やかに回復しています。

情報サービス産業におきましては、顧客のデジタル変革(DX)に対する投資意欲は底堅く、製造業の情報化投資は堅調に推移すると見込まれております。

当社グループは、2026年度を最終年度とする6カ年の経営計画「経営Vision 2026 改訂版」のもと、主要顧客である製造業のビジネス環境の変化に、当社グループの強みを活かした製品・サービスで支援すべく、製造業のDX推進やグローバル展開等の経営課題解決に取り組むとともに、サステナビリティへの貢献にも取り組んでおります。

当第3四半期累計期間の業績につきましては、下記のとおり前年同期比増収・増益となり、売上高は過去最高を連続更新し、利益は6期連続で過去最高益を更新いたしました。

2023年度(2024年3月期)の期末配当金につきましては、1株あたり44円を予定しており、中間配当金32円と合わせた年間配当金は76円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、当社事業へのご理解とともに将来性にご期待いただき、引き続き長期的な視点でのご支援を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

■ 第3四半期累計期間 ■ 通期 (単位：百万円)

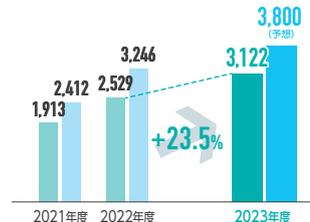
決算のポイント

- 売上高は、堅調な情報化投資のもとで、前年同期に比し増加
- mcframeライセンス売上高は、ライセンス販売が堅調に推移し、過去最高を連続更新
- 利益は、売上高増加による利益増、プロジェクト採算性向上・ライセンス販売伸長等により、前年同期に比し増加

売上高



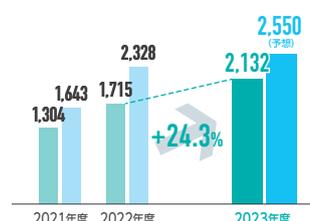
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



「BE:YOND FOR LIFE SCIENCE」開催



近年、細胞医療に代表されるように医療技術が進化し、医薬品・医療機器の製造・品質管理・物流・サプライチェーンネットワーク等も変化しています。また、ジェネリック医薬品においては、医薬品の原料(原薬)製造が不足し、医薬品供給不足が深刻化しており、多品種少量生産に向けた生産性、品質確保が課題となっています。

このようなライフサイエンス産業の課題解決に向け、お客様とともに、また、お客様相互でライフサイエンスの未来を考える機会が必要と考え、B-EN-Gは、2024年2月20日、「ヘルスケアの未来をともに創る」と題し、ライフサイエンス産業向けイベント「BE:YOND FOR LIFE SCIENCE」を、「JPタワー」ビルの大規模多目的ホールで開催いたしました。

本イベントでは、複数のご講演者様の発表を通じて、ライフサイエンス産業の未来に向かって、自社の業務改革や、協働でのイノベーション・クリエーションの姿を議論しました。

基調講演では、「細胞製剤の産業化に向けたプラットフォーム戦略」と題し、細胞医薬品の商用品製造を日本で初めて行われた株式会社サイト-ファクト様から、細胞製剤の製法検討、品質の規格化のためのプラットフォーム導入(装置開発・データサイエンス・GMPプロセス管理・治療データとの連携)、

サステナブル経営に向けた取り組みをご紹介いただきました。

個別セッションでは、多くのユーザー企業様より具体的な取り組み事例をご紹介いただきました。例えば、協和キリン株式会社様より製薬工場の品質管理におけるDX/ロボット化の推進について、中外製薬工業株式会社様からは高薬理活性医薬品製造における安全技術や、社内で推進中のPharma4.0に向けた取り組みについて、オリンパス株式会社様からは開発・製造現場でのデジタル化の取り組みについて、ロジスティード株式会社様からは医薬品物流におけるデータ活用についてご発表いただきました。また、最後にスペシャルセッションとして、株式会社iFactory様より、原薬の連続生産方式を採用したモジュール型の医薬品製造設備を用いた、遠隔地からの完全リモートによる無人運転等の社会課題解決の在り方について考察いただきました。

このイベントを通じて、ライフサイエンス産業各社が直面している課題の解決に役立つ知見と洞察を共有できたと思います。B-EN-Gは、引き続き、製造業のお客様の良きパートナーとしてよりよい、日本のものづくりを支えるITの提供に努めてまいります。



セグメント別事業概況

ソリューション事業

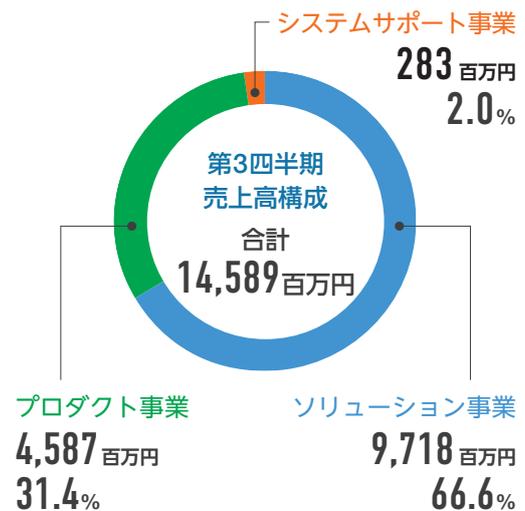
他社開発ERPパッケージ製品をベースとしたコンサルティング、システム構築等を主に行う事業です。顧客の課題解決に貢献する複合型ソリューションの提供を推進し、顧客ニーズを踏まえた積極的な提案活動に努めました。当セグメントの受注高は9,286百万円（前年同期比4.0%減）、売上高は9,718百万円（前年同期比4.8%増）となり、堅調な情報化投資を背景に売上高が増加しました。セグメント利益は売上高増加による利益増に加え、プロジェクトの採算性向上により2,504百万円（前年同期比23.3%増）となりました。

プロダクト事業

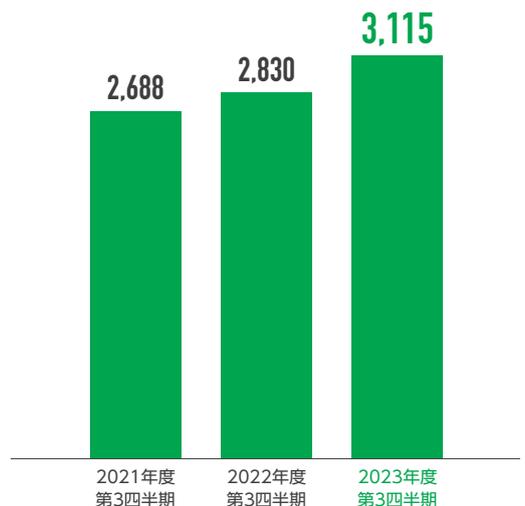
自社開発ERPパッケージ「mcframe」シリーズ製品をビジネスパートナーを通じて販売するとともに、同製品をベースとしたコンサルティング、システム構築等を行う事業です。引き続き、顧客・ビジネスパートナーとの関係強化を図りライセンス販売に注力するとともに、継続的なブランド力の強化に取り組んだことにより、ライセンス販売は堅調に推移いたしました。当セグメントの受注高は4,394百万円（前年同期比2.5%増）、売上高は4,587百万円（前年同期比10.1%増）、セグメント利益は1,460百万円（前年同期比15.0%増）となりました。

システムサポート事業

顧客に導入したシステムの運用・保守を主に、これらを通じた提案・追加開発等を行う事業であり、子会社のビジネスシステムサービス株式会社が展開しています。引き続き、顧客システムのライフサイクルサポートの充実に努めました。当セグメントの受注高は304百万円（前年同期比20.6%増）、売上高は283百万円（前年同期比3.1%減）、セグメント利益は393百万円（前年同期比6.1%増）となりました。



mcframeライセンス売上高 (単位：百万円)



※ 当社グループは2023年4月1日付で組織改正を行っており、プロダクト事業からソリューション事業へ一部案件を移管しております。前年同期との比較・分析にあたっては、当該組織改正を遡って適用した後の数値を用いております。

財務のポイント

総資産は、現金及び預金の増加、無形固定資産の増加、投資その他の資産の増加等により、前期末と比較して923百万円増加し、14,331百万円となりました。

負債は、賞与引当金の減少、未払法人税等の増加等により、前期末と比較して240百万円減少し、3,880百万円となりました。

純資産は10,451百万円となり、自己資本比率は72.9%となりました。

(単位：百万円)

	2023年3月末	2023年12月末
流動資産	10,821	11,365
固定資産	2,587	2,966
資産合計	13,408	14,331
流動負債	4,121	3,880
負債合計	4,121	3,880
純資産	9,287	10,451
負債純資産合計	13,408	14,331

会社概要 (2023年12月31日現在)

社名 ビジネスエンジニアリング株式会社
事業開始 1999年4月(設立 1980年12月)
資本金 697,600,000円
従業員数 連結708名 単体539名(2023年9月30日現在)
業務内容 企業経営および情報通信システムのコンサルティング
コンピュータネットワークの企画および開発
情報通信システムの企画、開発、販売およびリース
本社 東京都千代田区大手町1丁目8番1号
KDDI大手町ビル
関西支店 大阪府大阪市淀川区西中島6丁目1番1号
新大阪プライムタワー4階
中部営業所 愛知県名古屋市中村区名駅3丁目26番8号
KDX名古屋駅前ビル13階
グループ会社 ビジネスシステムサービス株式会社
Business Engineering America, Inc.
畢恩古商務信息系統工程(上海)有限公司
Toyo Business Engineering (Thailand) Co., Ltd.
PT. Toyo Business Engineering Indonesia
Toyo Business Engineering Singapore Pte. Ltd.

役員 (2023年12月31日現在)

代表取締役 取締役社長	羽田 雅一
代表取締役 専務取締役	別納 成明
常務取締役	中野 敦士
取締役	佐藤 雄祐
取締役	入交 俊行
取締役	宮澤 由美子
社外取締役	清水 弘
社外取締役	北村 正仁
社外取締役 監査等委員	丸山 龍二
社外取締役 監査等委員	志水 直樹
取締役 常勤監査等委員	大塚 博文

株主メモ

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

毎年6月

基準日

定時株主総会・期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所[郵便物送付先・電話照会先]

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

TEL.0120-782-031(フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店

および全国各支店で行っております。

単元株式数

100株

公告の方法

電子公告

<https://www.b-en-g.co.jp/>

ホームページリニューアルのご案内



ビーエンジ 🔍

<https://www.b-en-g.co.jp/>



2023年12月19日にホームページをリニューアルしました。昨年度の株主様アンケートで、当社に期待するIR活動第1位であった「ホームページの充実」にお応えするものです。具体的には、「IR情報」サイトの掲載情報拡充や当社をよりご理解いただくための情報の充実を図りました。引き続き、ホームページや株主通信を通じて、より一層、株主の皆様にはわかりやすく、有用な情報をご提供できるよう努めてまいりますので、リニューアルしたホームページも是非ご覧ください。



ビジネスエンジニアリング株式会社

本社：〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-8-1 KDDI 大手町ビル
TEL.03-3510-1600 / FAX.03-3510-1624